

とよまき通信

2018年 7月号

連絡先：豊巻 直子
天神堂36-111-7
53-1525 NO.12

社民党の豊巻直子です。6月に行われた議会の様子をお知らせします。

●補正予算 6月29日に議決となった2018年度補正予算の中で、小中学生の医療費が10月診療分から全額助成になりました。小中学生の就学援助費の支給項目に、クラブ活動費と生徒会費が追加されました。また、高齢者ドライバーの免許自主返納者（65歳以上で2018年4月1日以降に自主返納した人）に12000円分のバス・タクシー券やベప్పין商品券が交付されることになりました。

●安倍政権の疑惑・不祥事に対する真相究明及び責任追及を求める請願

「安倍政権の疑惑・不祥事に対する真相究明及び責任追及を求める請願」が、平和環境久慈地区センターから出されました。その理由は、森友学園への国有地売却を巡る財務省決裁文書の改ざんや加計学園問題など真相究明に証人喚問が必要であること。また、自衛隊の日報の隠ぺい、財務次官のセクハラ問題、「働き方改革」関連法案でのデータねつ造に対する責任の追及が必要であるからです。

請願は、6月22日の総務委員会に審査を付託され、「真相究明を今、国がやっているから請願の必要はない」、「真相究明が進まないため、国民の政治への不信が募っており、請願は必要」などの意見交換の結果、賛成多数で採択すべきものと決しました。



また、国が行うことであっても、地方から意見を述べるのが重要であることを説明するため、6月29日の本会議において、地方の意見書が国の決定を変更させた福島県西郷村の放射線モニタリングポスト撤去中止の例を出して訴えました。採決の結果、賛否同数で、議長の賛成で賛成多数となり採択され、国に意見書が送付されました。

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担2分の1復元を求める請願

教職員定数改善と義務教育費国庫負担2分の1復元を求める請願が岩手県教職員組合県北支部から出されました。子どもたちの豊かな学びを保障するため教職員の定数を改善することが必要であること、義務教育費国庫負担を3分の1から2分の1に復元し、国の施策として義務教育にかかる費用を補償することを求めた請願です。すべての会派の同意を取り付け、全会派で請願提出することができました。本会議においても全会一致で採択されました。

<一般質問です>

●避難所における食料の備蓄の現状と停電時の対策

【遠藤市長】災害発生時の非常用食料を毎年更新している。約1万9千食の食料と9千ℓ

の水を備蓄し、防災センター、山形総合支所、山根市民センターに配備している。停電対策は、防災センター、山形総合支所に発電機、懐中電灯などを配備している。平成28年度から実施している避難施設整備補助金があり、災害時に必要な備品の購入や、発電機接続用分電盤整備等に係る改修工事などに活用されている。

【豊巻】避難施設整備補助金の補助率が5割となっており、分電盤は高価であり、その設置のために残りの5割を町内会が支払うことは難しい。補助率を上げることはできないか。

【澤里総務部長】すぐに補助率を上げることはできないが、同じような要望も聞いているところであり、今後の検討課題とする。

【豊巻】3. 11の避難所で、水や食料をもらうために並ばなければならなかったが、障がいを持った方で、長時間並ぶことが苦痛だった方もいた。たとえば、県の広報誌「岩手グラフ」に載っていた、「もしもの備え」。これは、米と水と塩と発熱材が入っていて、15分で1人前のご飯が炊ける。このような方法も検討いただけないか。

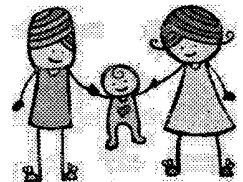
【澤里総務部長】一人で炊けるということは避難所で有効と考える。商品については勉強させていただきたい。

●広域道の駅 家族で訪れるなら久慈で休みたいと思わせる工夫は

【遠藤市長】子ども連れの集客は重要と考えている。子どもたちが遊ぶことのできるスペースを確保する。

【豊巻】決め手はトイレ。きれいで使いやすいトイレ。子ども用のトイレがある。高齢者が使いやすいよう手すりがついている。ゆったりおむつ替えできる。授乳できるスペースがある。そして、食べ物。子ども用のいすやベビーカーがある。子ども用の食器、子ども用のメニュー、乳児食がある。アレルギーの子どものために、メニューに原材料名を明記する。味を薄くする、できるだけ添加物を使わないなどが大切。

【中務総合政策部長】トイレは決め手。乳幼児への対応については、すべて対応できるかわからないが、考えてみる。



●生活困窮者への対応

【豊巻】いわて生協と協力して、フードバンク事業を充実する考えはないか。

【遠藤市長】現在、久慈市社会福祉協議会とNPO法人フードバンク岩手が提携して行っている。今後、いわて生協との連携・協力について検討していく。

【豊巻】岩手県は子どもの貧困について、2018年度調査の予算を組んだ。久慈市では調査の予定はないか。

【遠藤市長】調査を予定していたが、県が行うためやめ、県の調査データを活用する。

●小中学校の安全衛生体制の確立

【豊巻】時間外労働時間の集約結果を受けた改善策は。

【後教育長】これまでの対策の他に、ワーク・ライフ・バランスシートを活用し、教職員の仕事と生活の両立に向け、校長が仕事面だけでなく、生活面での制約や配慮の希望を把握し、働きやすい環境づくりを進めていく。